

平成30年度 高知ingアカデミー 講師プロフィール

1	氏名	栗木 一博(あわき かずひろ) 氏
	所属・役職等	仙台大学 教授
	主な経歴	<p>○上越教育大学 教育学修士取得。 (専門分野はスポーツ心理学、スポーツ情報戦略)</p> <p>○2003年～ 日本オリンピック委員会情報・医・科学専門委員会科学サポート部会部会員。</p> <p>○ソルトレイクオリンピック(2002年)以降、ロンドンオリンピック(2012年)まで情報チームの一員として情報戦略活動をサポート。</p> <p>○長野およびソルトレイクオリンピックではスポーツ心理学担当としてボブスレー・リュージュナショナルチームをサポート。</p> <p>○2005年～ 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会講師。</p> <p>○各地域のタレント発掘事業の委員として活躍。高知県のタレント発掘事業「高知くろしおキッズ」でも、プログラムの構成及び取組を支援。</p>

2	氏名	杉田 正明(すぎた まさあき) 氏
	所属・役職等	日本体育大学 教授/博士(学術)
	主な経歴	<p>○三重大学大学院教育学研究科修了。 (研究分野は、スポーツ科学、体力科学、トレーニング科学)</p> <p>○(公財)日本オリンピック委員会、(公財)日本陸上競技連盟の科学スタッフやJISSアドバイザーとして医・科学活動をサポート。</p> <p>○2010FIFAワールドカップでは、40日間、日本代表チームに帯同し、高地対策コンディション管理を支援。</p> <p>○ロンドン、リオデジャネイロオリンピックでは、陸上競技(競歩・マラソン選手)をはじめ、他競技も含めて数多くの選手を科学的に支援。</p> <p>○現在は、2017年ロンドン世界陸上、2020年東京オリンピックに向けた暑熱対策やコンディション管理に取り組んでいる。</p>

3	氏名	土屋 裕睦(つちや ひろのぶ) 氏
	所属・役職等	大阪体育大学 教授
	主な経歴	<p>○筑波大学大学院 体育研究科コーチ学修了。博士(体育科学) (専門分野は、スポーツカウンセリング、メンタルトレーニング)</p> <p>○2013年 文部科学省が設置した「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議(タスクフォース)」委員。</p> <p>○日本体育協会「コーチ育成のためのモデルコアカリキュラム作成」ワーキング座長。</p> <p>○日本オリンピック委員会スポーツ・医科学サポート部門員。</p> <p>○日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング上級指導士。</p> <p>○プロスポーツチームや日本代表チームにてカウンセリングを担当。</p>

4	氏名	川西 茂(かわにし しげる) 氏
	所属・役職等	ザ・アカデミージャパン代表取締役社長
	主な経歴	<p>○16年間のサラリーマン生活後、経営学者S・Rゴヴィー博士の著書「THE SEVEN HABITS HIGHLY EFFECTIVE PEOPLE」に感銘を受け、渡米。帰国後、日本での「7つの習慣」のセミナー展開と翻訳に着手。</p> <p>○1992年ゴヴィー・リーダーシップ・ジャパン社長、1998年フランクリン・ゴヴィー・ジャパン副社長を歴任。</p> <p>○翻訳した「7つの習慣」は、日本で200万部を突破し、数多くのビジネスマンに愛読されている。また、「7つの習慣」セミナーは、延べ3500社・20万人が受講するに至っている。</p> <p>○2005年自ら開発したキャリア開発研修を展開すべく株式会社ザ・アカデミージャパンを設立。新しい人材開発の形を追い求め、全国各地で公演、研修、執筆活動を行っている。</p>

5	氏名	阿部 篤志(あべ あつし)氏
	所属・役職等	<p>独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC) 情報・国際部 情報戦略課長 ハイパフォーマンスセンター 機能強化ユニット インテリジェンスグループ 分析・評価チーム スポーツ・インテグリティ・ユニット ガバナンス・コンプライアンスグループ 国立スポーツ科学センター(JISS) スポーツ研究部 副主任研究員</p>
	主な経歴	<p>○日本オリンピック委員会(JOC)、経済産業研究所(RIETI)、国立スポーツ科学センター(JISS)、仙台大学等を経て、2014年より現職。専門分野はスポーツ政策、スポーツ情報戦略。</p> <p>○現在は、地域スポーツ参加促進やスポーツを通じた社会課題の解決等に関する諸外国の先進事例等の収集・分析・提供業務の運営、競技団体の強化戦略プラン高度化・実効化のための新たな分析手法の開発、競技団体のインテグリティ(誠実性・高潔性・完全性)の保護・強化に関する事業の実施等を担当。</p>

6	氏名	山下 修平(やました しゅうへい) 氏
	所属・役職等	独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンス戦略部 開発課主任専門職 国立スポーツ科学センタースポーツ研究部前任研究員
	主な経歴	<p>○筑波大学大学院体育研究科スポーツ健康科学専攻修了。</p> <p>○2004～2005年 ラグビー日本代表テクニカルスタッフ。</p> <p>○2006年 7人制ラグビー女子日本代表ヘッドコーチ。 (香港遠征、ウズベキスタン遠征)</p> <p>○北京オリンピックでは、日本代表選手団の村外情報戦力スタッフとして活躍。</p> <p>○2008年～(独)日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター研究員。</p> <p>○2010年 広州アジア競技大会では、日本代表選手団本部員(情報戦略担当)として活躍。</p> <p>○2016年～女性アスリートの戦略的強化・支援プログラムマネージャー。</p>

7	氏名	佐野 潤一(さの じゅんいち) 氏
	所属・役職等	独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター スポーツ開発部 戦略的強化事業(地域連携)コーディネーター
	主な経歴	<p>○東京福祉大学(社会福祉学部国際福祉心理専攻)卒業。</p> <p>○サービス管理責任者として、重度障がい者、障がい者の就労支援を行うなど福祉の現場で20年以上勤務。</p> <p>○2011～2015年 脳性まひサッカー日本代表のコーチ・監督として活躍。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年 オランダ世界選手権(ロンドンパラリンピック最終予選)コーチ。 ・2013年 スペイン世界選手権監督。 ・2014年 韓国仁川アジアパラ大会監督(銀メダル獲得) ・2015年 イングランド世界選手権(リオパラリンピック最終予選)監督。 <p>○障がい者スポーツ上級指導員、障がい者スポーツコーチ、日本サッカー協会公認B級コーチ・キッズリーダーの資格取得。障がいの有無に関わらず、長い期間サッカー指導に携わる。</p>

8	氏名	豊田 太郎(とよだ たろう) 氏
	所属・役職等	名寄市立大学 特任研究員
	主な経歴	<ul style="list-style-type: none"> ○筑波大学大学院修了。 ○ライプチヒスポーツ科学交流協会の活動に参加し、ドイツ・ライプチヒ学派のコーディネーショントレーニングやアスリートの長期一貫性指導、タレント発掘を学び、様々な競技のトレーニングコーチを務める。 ○平成27年度まで日本スポーツ振興センターにてアスリートパスウェイの戦略的支援事業の副マネジャーとして勤務。 ○現在は、名寄市教育委員会および名寄市立大学特任研究員として、冬季スポーツの日本代表やジュニアアスリートの育成に携わっている。 ○ライプチヒ大学公認コーディネーショントレーナー。 ○日本SAQ 協会認定レベル3インストラクター。 ○日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者。
	氏名	井場 正知(いば まさとも) 氏
	所属・役職等	スポーツトレーニングコーチ(SAQ レベル2・インストラクター)
	主な経歴	<ul style="list-style-type: none"> ○専門競技は総合格闘技。 ○過去の指導種目はアメリカンフットボール、ラグビー、野球、キックボクシング、チアリーディング、ボート、他多数。 ○SAQ レベル2インストラクターとして、専門学校セミナーや学生を対象としたSAQ 講習会の講師として活躍。 ○「高知くろしおキッズ」のプログラムの構成及び取組を支援。